

令和3年度 事業計画案

I. **基本方針**

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の縮小や中止が相次いだものの、鳥取市から新型コロナウイルス対策の新たな支援事業を受託することで、協会として、鳥取市の観光産業を支援することができました。

令和3年度に入っても、新型コロナウイルス感染症が全国に蔓延し、依然収まる気配を見せていません。首都圏からの観光客の主要な移動手段となっている羽田便の減便、特急スーパーはくとの減便、県境をまたいだ移動の自粛等、観光産業にとって、マイナスの要素ばかりです。

そのような中、鳥取県内の高齢者へのワクチン接種は、7月末までに終わる旨の明るいニュースがあります。ワクチン接種が進めば、新型コロナウイルスの感染が徐々に収束していき、移動自粛の反動により、一挙に来訪者が増加することも考えられます。いずれにしても、令和3年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の動向や影響を考慮した上で、コロナ禍の事業展開を行いながら、コロナ禍の先を見据えた事業展開もあわせて行っていきます。

コロナ禍で変化した旅行スタイルに対応した滞在型観光の検討や各地域の観光協会、観光関係団体と意見交換するなど、地域の観光資源を捉えなおし、活用方法の再構築を目指します。

さらに、観光消費を意識した戦略的な情報発信に取り組みます。

戦略的な情報発信の柱は、昨年度麒麟のまち観光局と連携して策定した「鳥取市観光販売戦略」に基づく、協会ホームページのリニューアルです。観光WEB戦略などにより、鳥取市の観光情報の発信を強化し、コロナ禍でも鳥取市への来訪者増の取り組みや地域の交流人口の増に向けて取り組みます。また、コロナ禍の先を見据えた企画造成及び情報発信を行います。

鳥取しゃんしゃん祭は地域の文化として定着しております。そこで、鳥取しゃんしゃん祭は、中心市街地での開催に替えて布勢総合運動公園で開催します。

また、観光による賑わい創出に向けて、国・県等が募集する観光推進施策を研究し、会員との連携を意識しながら積極的に応募を目指します。

物産事業については、物産会員と連携を図り、カタログギフト等の新たな取り組みにチャレンジし、地元物産の振興、情報発信等に努めます。

また、コロナ禍で影響を受けている物産会員を支援するため、会費の免除を令和3年度も引き続き行うとともに、過剰在庫を抱える事業者支援のため、ふるさと物産館で割引セールを実施するとともに、とっとり市では、地元物産の販売促進のため30%OFFキャンペーン等にも取り組みます。

Ⅱ. **重点事項**

1. コロナ禍における事業展開及びコロナ禍の先を見据えた事業展開

県境をまたいだ移動の自粛等により、コロナ禍以前のような本年度事業の展開は、難しいと思われる。

コロナ禍における事業展開として、まず域内観光を重視し、ターゲットを域内住民に絞り、事業を実施します。観光商品造成においては、これまで商品販売に至っていない観光素材による新たな観光商品の造成、既存の観光地の視点を変えた観光商品造成等により、地域観光の活性化に取り組みます。

また、コロナ感染防止対策として見直されている自転車を利用した、レンタサイクルコースの企画立案に取り組みます。

事業実施に当たっては、感染対策ガイドラインを作成し、安全度の高い内容であることをPRしていきます。

コロナ禍の先を見据えた対応として、コロナ禍により団体旅行から個人旅行に拍車がかかっている旅行スタイルに柔軟に対応した、誘客促進に取り組みます。将来の誘客につながるターゲット別の情報発信や、体験メニューの造成等、観光事業委員会で議論し、必要に応じて協会として鳥取市へ提案するとともに、鳥取市の政策としていただくよう要望します。

2. 新型コロナウイルス感染症により打撃を受けている観光産業の支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、鳥取市の観光産業は深刻な打撃を受けています。観光産業はすそ野が広く、地域経済に与える影響の大きさがコロナ禍で浮き彫りになりました。

こうした状況を踏まえ、令和2年度から実施の「お得に泊まって応援!鳥取市宿泊キャンペーン」を継続するとともに、物産会員が抱える過剰在庫商品の販売促進を図るため、ふるさと物産館での「地元応援フェア」の開催、地元物産の販売促進促進のためインターネットショップとっとり市での「30%OFFキャンペーン及び送料無料キャンペーン」を実施し、会員を支援します。

また、令和4年度の支援について、理事会や委員会で研究します。

3. 観光消費を意識した戦略的な情報発信

鳥取市ホームページの観光情報の提供を兼ねている協会ホームページは、テキストが少ないため検索結果に反映されにくい、スマホに最適化した画面表示となっていない等の多くの課題があるため、令和3年度にリニューアルします。

リニューアル後は、鳥取の観光情報が得やすくなるため、旅マエ・旅ナカ・旅アトを戦術に取り入れることができます。個々のストーリーに照らした多様な観光をPRすることで、観光客と来訪者で交流人口増を目指し、観光消費の拡大を意識して戦略的に情報発信します。

鳥取市の観光や物産等の情報発信に活用できる魅力的な写真のストックがほとんどない現状を改善するため、令和3年度より、魅力ある写真データのストック事業を開始します。

事業の柱は、フォトコンテストの実施、研修を受けた職員による写真撮影、公的機関が所有する写真の収集です。これらにより、協会ホームページ、パンフレット、ポスター等に活用し、魅

力的な鳥取市の観光情報や物産品等の情報発信を行います。

4. 戦略的な協会運営と人材の育成・確保

令和2年度は鳥取市からの受託事業や国・県からの給付金等により、決算収支差額はプラスになったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要の回復を見通すことができないため、令和3年度予算の収支差額は、大幅なマイナスを見込んでいます。

効率的、効果的な事業展開を行うため、業務管理における改善手法であるP D C Aサイクルを用いて、協会役員による事業評価を年度内に2回実施します。事業評価は年度途中の中間評価と年度終了期の期末評価とし、次年度の事業展開に繋げていきます。

観光のプロとして戦略的な事業の企画立案、並びに会員の下支えと会員からの信頼度アップのため、協会事務局の強化が必要です。職員のスキルアップに努めるとともに、質の高い人材の確保のため、待遇改善等に取り組みます。

Ⅲ 事業計画

新型コロナウイルス感染症の拡大状況、収束状況に柔軟に対応しながら次の事業を行います。

1 鳥取駅観光案内所の運営【公益事業】(改善継続)

新型コロナウイルス感染防止対策を行い、窓口を訪れる観光客の要望に寄り添って観光案内、観光施設、宿泊施設等を紹介します。具体的には、二次交通と観光施設を組み合わせたコース等の提案、合わせて観光施設の入場券やループ麒麟獅子バス等の乗車券の販売も積極的に行います。

2 企画造成・地域活性化事業【公益事業】

(1) 企画造成事業(改善継続)

麒麟のまち観光局や地域の団体等と連携し、将来的な観光需要の回復を見据え、ターゲット層を考えながら、鳥取市東、西、南地域の特色を生かした観光商品の磨き上げや新たな商品造成に取り組めます。

コロナ禍でも安心して観光ができるようレンタサイクルを活用した観光コースの造成等に取り組めます。

(2) 地域活性化事業(同様継続)

コロナ禍でも開催される地域の事業へは、合併協定に基づいて助成します。

なお、助成対象事業は次のとおりです。

宝木海岸施設整備事業(気高町観光協会)

鹿野桜祭りモルタルアート事業(鹿野桜まつり実行委員会)

伝統行事の伝承事業(北村老人クラブ)

国府フィッシングフェスタ(国府フィッシングフェスタ実行委員会)

雨滝滝開き祭、扇ノ山山開き祭(国府町観光協会)

吉岡温泉ホテルまつり事業(吉岡温泉ホテルまつり実行委員会)

賀露白いか祭り(賀露白いか祭り実行委員会)

鳥取市河原町あゆ祭宣伝事業(あゆ祭企画実行委員会)

福部町梨狩りキャンペーン事業(浜湯山果実組合)

砂丘ビーチ砂もり大会(砂丘ビーチ砂もり大会&砂像コンテスト実行委員会)

伝統行事の伝承活動事業(片山老人クラブ御子岩会)

青谷町観光ガイドマップ制作(青谷町観光協会)

3 広報活動事業【公益事業】

(1) 広告宣伝活動事業(改善継続)

令和3年度下半期から令和4年度の商品販売及びPRのため、(公社)鳥取県観光連盟や所属する観光プロモーターと連携し、旅行会社向けの観光情報説明会や商談会等(オンライン開催含む。)へ参加するなど、コロナ禍における積極的な宣伝・販売活動に取り組めます。

そのほか、ホームページがリニューアルされる秋以降、ホームページを活用した新たな広報宣

伝活動を行います。

(2) ホームページ運営事業

ア ホームページ管理運営事業（改善継続）

市内で開催される各種イベントや会員から提供のあった情報を新着トピックスに掲載します。コロナ禍で県外への営業・宣伝活動が難しいため、SNS（facebook、Instagram及びTwitter）で、鳥取市の魅力ある旬な話題、観光情報等の中身を充実させ、スポットとタグ付けし、年間300件の投稿を目標に、効果的な情報発信に努めます。

イ ホームページリニューアル事業（新規事業）

観光WEB戦略及びリアル観光戦略に基づいた新たなホームページを構築します。構築にあたっては、理事有志などが参加するチームを中心に、協会ホームページのリニューアルに向けた編集作業を行い、秋ごろの公開を目指します。また、観光スポット20か所、モデルコース2本、季節に合わせた特集記事2本、物産事業の特集ページ1本を制作するなど、公開後はタイムリーな情報発信に努めます。

(3) 観光パンフレット等作成事業（縮小継続）

パンフレットの種類を減らすとともに、鳥取市街地マップ・広域マップ等については最新の情報に更新して印刷します。

県内外の宿泊施設、観光案内所、旅行会社、個人客等からの依頼に応じ、各種パンフレット等を提供します。また、環境に配慮するため、協会ホームページ等パンフレットのダウンロードが可能なサイトの活用の推進や二次元バーコード（QRコード）による誘導の方向性を検討します。

(4) 鳥取市観光協会連活動事業（縮小継続）

イベント等でしゃんしゃん傘踊りの出演依頼があった際に鳥取市観光協会連を派遣します。このほか、しゃんしゃん傘踊りだけでなく、鳥取市観光協会連による鳥取しゃんしゃん祭の新たな発信方法や鳥取市の観光PRができる方法を検討します。

4 コンベンション支援事業【公益事業】（改善継続）

（公財）とっとりコンベンションビューローの感染症予防対策支援を受けた事業者を補助対象とするなど、多様な団体のコンベンション活動を支援します。

5 旅行業取扱業務【収益事業】

(1) 旅行業事業（改善継続）

宿泊、食事、旅行等の手配だけでなく、コロナ禍においても実施できる旅行商品の企画を会員とともに調査し、販売協力をします。

(2) Gバス事業（改善継続）

鳥取市内を中心とする日帰りバスツアー「鳥取・因幡Gバス」を4コース運行します。各コース

とも新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、安心して参加できるようにします。なお、当面の参加者は鳥取県内及び兵庫県香美町並びに新温泉町在住者を対象とし、募集定員は乗車定員を半分の20人で募集します。

ア ジオコース

行程（案）：浦富海岸遊覧、鳥取砂丘見学、砂の美術館、かろいち、わったいな、かにつこ館、白兔神社、鳥取砂丘コナン空港

イ 西いなばコース

行程（案）：子守神社、建山神社、かちべ伝承館（豆腐づくり体験）、鹿野城下まち歩き、道の駅西いなば気楽里

ウ 国府コース

行程（案）：因幡万葉歴史館、因幡国庁跡、宇倍神社、旧美敷水源地水道施設、雨滝
※いなば国府ガイドクラブのガイド付き

エ 南エリアコース

行程（案）：もちがせ流しびなの館、若桜鉄道乗車（隼駅～郡家駅）、お城山展望台河原城、賣沼神社、西郷工芸まつり（秋）・牛ノ戸焼窯元（春）

6 二次交通事業【収益事業】

(1) ループ麒麟獅子運営事業（同様継続）

鳥取観光バス「ループ麒麟獅子バス」を運行します。新型コロナ感染状況を踏まえ、運行日程の見直しについても、適宜関係機関と協議します。

【参考】

運行日：土・日・祝日（元日は除く）・振替休日、8月 年間139日運行

運行本数：1日12便

料金：1回乗車300円、1日乗車券（乗放題）600円

(2) レンタサイクル事業（改善継続）

鳥取駅駐輪場で普通自転車および電動アシスト自転車の貸出を行います。

コロナ禍では、レンタサイクルは密にならない有効な観光交通手段であることを、協会ホームページやSNSで積極的に情報発信し、利用を促していきます。

そのほか、レンタサイクルの乗り捨てが可能となる方法等、利用者の利便性をより良くする方法について研究します。

7 桜のライトアップ事業【公益事業】（改善継続）

3月下旬の桜の開花に合わせ、鳥取城跡・久松公園及び袋川土手にぼんぼり・照明の点灯を行います。令和4年春は大手登城路の復元が進む鳥取城跡お堀端、宝珠橋からお堀に映る桜をライトアップすることで幻想的な夜桜を演出します。

ぼんぼりの設置に伴い協賛金を募集し、桜の開花状況をホームページ、SNSを通じて県内外へ情報発信します。お堀端周辺の魅力向上のため、令和4年春は吉川経家公像の近くまで協賛ぼんぼ

りが設置できないか、検討します。

8 観光ガイド支援事業【公益事業】(同様継続)

(1) 観光ガイド団体への助成

鳥取市内で活動するガイド団体が安心してガイド活動ができるよう、ガイドの活動保険への加入代やガイドに使用するパンフレット、備品等へ助成をします。また、リニューアル後の協会ホームページでもガイド情報を掲載し、観光客の利用促進を図ります。

(2) 観光ガイド団体の研修会

他地域でガイド活動をしている鳥取県近隣の団体等とコロナ禍のガイドの実施についての意見交換会及び現地研修を行い、今後のガイド活動に役立つ研修会を実施します。

9 鳥取市宿泊キャンペーン事業【公益事業】(改善継続)

(1) 宿泊割引事業

コロナ禍で打撃を受けている会員の宿泊事業者及び旅行業を支援するため、「お得に泊まって応援！鳥取市宿泊キャンペーンⅡ」として、宿泊費の半額(上限3,000円)の割引分を助成します。

(2) 日帰り食事割引事業

会員の宿泊事業者及び「安心観光・飲食エリア」宣言をしている会員事業者を支援するため、2,000円以上の食事メニューに対して1,000円の割引分を助成します。

10 鳥取市観光大学事業【公益事業】(改善継続)

(1) 第17期鳥取市観光大学

地域全体でのおもてなし向上を図るため、鳥取市観光大学運営委員会の事務局及び委員として協力します。

観光施設の従業員等に座学や現地めぐりなど、「鳥取砂丘」を最大限活用した観光地を含む歴史や文化など大学カリキュラムの充実に努め、認定試験の合格者を鳥取観光マイスターに認定します。

鳥取観光マイスターの取得者を増やすため、認定された事業所の紹介や鳥取観光マイスターの活動を発信します。

(2) ブラッシュアップ研修

鳥取観光マイスターが在籍している事業所を調査し、活動している鳥取観光マイスターを対象に現地研修を行い、鳥取観光マイスターのレベルアップに取り組みます。

11 鳥取しゃんしゃん祭事業【公益事業】(改善継続)

鳥取しゃんしゃん祭振興会の事務局を担うとともに、鳥取市の一大イベントである鳥取しゃんしゃん祭に積極的に協力します。

鳥取しゃんしゃん祭振興会は、鳥取市の夏を彩る風物詩「第57回鳥取しゃんしゃん祭」を、新型コロナウイルス症への感染防止対策を徹底したうえで開催します。

日 時：8月14日（土）

会 場：ヤマタスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園）

※無観客で開催、当日の様子はテレビで生中継されます。

12 鳥取三十二万石お城まつり事業【公益事業】（改善継続）

鳥取三十二万石お城まつり実行委員会事務局としてまつりに参画します。

鳥取城復元に向けた意識の高揚と、文化と観光の振興、さらに中心市街地の賑わい創出のため、久松公園周辺や中心市街地において、地元事業者及び大学生をはじめとする実行委員の協力を得て鳥取三十二万石お城まつりを開催します。

日 時：9月25日（土）、26日（日）

主会場：中心市街地（25日（土））、鳥取城跡・久松公園（26日（日））

13 鳥取県東部エリア周遊スタンプラリー事業【公益事業】（同様継続）

鳥取県東部1市4町、観光協会及び鳥取県が連携し、鳥取県東部エリアの周遊促進を図るために取り組むスタンプラリー事業を引き続き実施します。

本協会の役割：令和3年春期のスタンプラリー帳制作並びに受付事務、及び会計業務

14 フォトライブラリー事業【公益事業】（新規事業）

鳥取市の風景や観光地、料理、特産品が魅力的に撮影された写真を協会でストックするためのフォトライブラリー事業を始めます。協会がホームページの特集や観光スポットの紹介等に自由に利用でき、観光情報及び地元物産の魅力発信に活用します。

（1）フォトコンテストの実施

（2）講習を受けた職員による写真撮影

（3）関係機関からの写真データ収集

15 物産振興事業【公益事業・収益事業】

（1）地元物産の振興を図る（改善継続）

「ふるさと物産館運営計画」に沿って、季節に応じた特設コーナー等を実施します。

地域ならではの商品を企画開発し、販路拡大につなげます。

地元物産を集めたカタログギフトを作製し、新たな販路開拓につなげます。

コロナ禍を踏まえ、姉妹都市の物産が交流販売できないか姉妹都市間で協議し、実施可能であればふるさと物産館で、姉妹都市の物産を販売するとともに、姉妹都市でも鳥取市の物産を販売してもらいます。

（2）地元物産の発信を行い、物産振興につなげる（改善継続）

・「ふるさと物産館出店計画」に沿って、県内外のイベント、コンベンション等へ出店し、地元物産のPRを行います。

新規物産会員数目標：10（前期末の物産会員数：99）

・ギフト商品の拡充やインターネットショップの品揃えを充実させて、通信販売の利用拡大につなげます。

<ふるさと物産館数値目標>

総売上目標：31,723千円（前年度実績30,483千円）

（うち、通信販売売上目標：5,769千円（前年度実績5,644千円））

・地元物産の販促キャンペーンを実施し、地元物産の認知度向上につなげます。

（3）「とっとり市」の適切な運営管理（改善継続）

「鳥取市公式インターネットショップ運營業務委託仕様書」に基づき、鳥取市と連携を図りながら30%オフキャンペーンや送料無料キャンペーンを盛り込んだ「令和3年度とっとり市運営計画」を策定し、利用者拡大に向け効果的な運営・管理を行います。

また、物産会員との意見交換会等により、「とっとり市」店舗数の増加や利便性向上のための検討をします。

<とっとり市数値目標>

売上：100,000千円（前年度実績63,246千円）

店舗数：160店舗（前期末145店舗）

会員数：5,000人（前期末3,195人）

（4）まちパル鳥取での観光や飲食店の案内機能の充実（改善継続）

県内、麒麟のまち圏域の観光情報等を集め、まちパル鳥取で観光案内の充実に努めます。また、会員の飲食店情報を観光客にすすめることができるよう整理します。

諸団体が実施する誘客キャンペーン（WeLove山陰キャンペーン、鳥取県東部エリア周遊スタンプラリー等）等に積極的に参加し、観光客の満足度向上に寄与します。

<ふるさと物産館運営計画>

実施月	特設コーナー・キャンペーン実施内容
4月	とっとり市出品商品の販売促進コーナー らっきょうコーナー（～6月）
5月	GW特産品プレゼントキャンペーン
6月	お中元コーナー（～10月末）
7月	梨コーナー（店頭受注開始） 連休限定クーポンキャンペーン
8月	梨コーナー（～10月）
10月	お歳暮コーナー 木のまつり同時イベント 冬の梨コーナー（～12月）

実施月	特設コーナー・キャンペーン実施内容
11月	蟹関連商品コーナー（～1月）
12月	福袋コーナー（～1月初旬）
1月	鳥取民藝フェア（～3月）

<ふるさと物産館出店計画>

開催月	出店名称	開催地
8月	全国ホープス西日本卓球大会	鳥取市
9月	全日本社会人バドミントン選手権大会 阪神競馬場 釧路大漁どんぱく	鳥取市 宝塚市 釧路市
10月	中国レディース卓球大会 こおりやま産業博 岩国祭	鳥取市 郡山市 岩国市
11月	とりアート	鳥取市
2月	N I K K Oフェア	鳥取市
3月	鳥取マラソン2022	鳥取市

16 協会組織の充実・強化（改善継続）

（1）総会、理事会等の開催

定時総会、理事会、三役会、委員会等を開催します。

協会役員による事業評価を年度内に2回実施します。事業評価は、年度途中の中間評価と年度終了期の期末評価とし、次年度の事業展開に繋げていきます。

（2）会員との連携強化

協会だよりを発行し、情報提供に努めます。

会員に関心をもってもらえる会員研修会を開催します。

会員の声を聞くために、会員との意見交換会を実施します。

（3）協会組織の強化

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている会員の負担を軽減するため、令和2年度に引き続き、令和3年度の物産会員の物産登録費5,000円を免除します。

令和4年度に向け、自主財源の確保に取り組むとともに、鳥取市による予算化が必要な事業は委員会等で検討します。

組織強化のためには、事務局強化が必要であり、事務局強化のためには人材の育成・確保が必要です。人材を育成・確保するため、職員研修の強化及び職員の処遇改善に取り組みます。

17 職員のスキルアップと就業意欲の向上（改善継続）

特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が減少することが想定されるため、鳥取

市観光案内所職員については、観光案内のための観光施設等への現地研修等を増やし、スキルアップに努めます。

労働時間の管理、職員研修等の教育訓練、有給休暇取得の推進、福利厚生等の適正な労働環境に努めることにより、職員のスキルアップと就業意欲の向上を図ります。